

「21世紀COEプログラム」(平成14年度採択)進捗状況報告書(中間評価用)

機 関 名	機関番号	拠点番号
1. 申請分野 (該当するものに印)	A<生命科学> B<化学、材料科学> C<情報、電気、電子> D<人文科学> E<学際、複合、新領域>	
2. 拠点のプログラム名称 (英訳名)	副題を添えている場合は、記入して下さい(和文のみ)	
研究分野及びキーワード	<研究分野: >() () () () ()	
3. 専攻等名		
4. 事業推進担当者	(拠点リーダー名)	他 名
5. 拠点形成の目的、必要性・重要性 本拠点がカバーする学問分野を、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。		
-1 将来構想等(調書)との関係を踏まえ、本拠点の特色を述べるとともに、どのような世界最高水準の研究教育拠点を形成するのがわかるように焦点を絞り、その目的、必要性・重要性について具体的かつ明確に記入してください。		
-2 COEを目指すものが、いかにユニークであるか。もし他に優れたものがあれば、それとの比較を具体的に記入してください。		
-3 本拠点がCOEとしてどのような重要性・発展性があるのか、具体的かつ明確に記入してください。		
本プログラムで行う事業が終了した後に期待される研究・教育の成果について具体的かつ明確、簡潔に列挙してください。		
背景となる当該研究分野の国内外の現状と動向、期待される研究成果とその学術的または社会的な意義・波及効果等についても記入してください。		

6 . 平成 1 5 年度までの研究拠点形成進捗状況

運営状況

- ・当初の拠点形成の目的に沿って着実に進展しているか
- ・研究活動において、新たな学術的知見の創出や特記すべきことがあったか
- ・若手研究者が、有為な人材として活躍できるような仕組みを措置し、機能しているか
- ・拠点リーダーを中心として事業推進担当者相互の有機的な連携が保たれ、活発な研究活動が展開される組織となっているか
- ・国際競争力のある大学づくりに資するためどのような取組みを行っているか
- ・研究経費は効率的・効果的に使用されているか
- ・どのような形の情報発信が行われているか（国内・海外に向けて）
について、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。

留意事項への対応

「21世紀COEプログラム委員会」の審査結果により指示を受けた留意事項への対応（学外からの博士課程研究員の受入状況、大学院教育の実施状況などの現況等）について、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。

今後の展望

- ・今後、拠点形成を進める上で改善点（改善を加えた方が適当であり、そのように進めたいという考え方等）はないか
- ・我が国のCOEとして、どのような点が期待できるか（例えば、研究を通じた人材育成の評価、国際的評価、国内の関連する学会での評価、産学官連携の視点からの評価、社会貢献等）について、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。

その他

・この拠点は、学内外に対しどのようなインパクト等を与え、大学の個性に何を付加したか等について、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。

7. 研究活動実績

主な発表論文名・著書名

(事業推進担当者(拠点リーダーを含む)及び拠点となる専攻等が2002年~2003年に発表した主な論文名、著書名、学会誌名、巻、号、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目について記入してください。)

(下記のうちで、主な発表論文の抜刷を3編程度添付してください。)

国際会議等の開催状況

(開催時期・場所、会議等の名称、参加人数(うち外国人参加者数)、主な招待講演者(3名程度)の情報について記入してください。)

8. 教育活動実績

(若手研究者等の人材育成プログラム(名称、対象、具体的内容(箇条書きで列記)、選考方法、支給額等)について記入してください。)

9. この拠点形成計画に関連して受けた研究費

(事業推進担当者(拠点リーダーを含む)及び拠点となる専攻等が2002年から2003年に交付を受けた研究費(科学研究費補助金、その他の省庁・研究助成法人・民間企業等からの研究費を含む。)のうち主なものを記入してください。)

研究費の名称	期 間	研 究 課 題 等	交付を受けた者 (研究者名又は組織名)	研究経費(総額, 千円)

10 . 14年度及び15年度の各経費の支出明細				金額(千円)	
事 項	支 出 状 況				
	COE補助金	学内経費	(競争的資金) 外部資金	計	
<平成14年度>					
(平成14年度)	合 計	a	b	c	a+b+c
<平成15年度>					
(平成15年度)	合 計	a	b	c	a+b+c

11. その他

このページは、非公表のページです。公表されると支障が生じると考えられるが、拠点形成を推進する上で特に必要な事項について、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。

「21世紀COEプログラム」(平成14年度採択)拠点形成計画調書(中間評価用)

機 関 名		機関番号		拠点番号		
1. 申請分野 (該当するものに印)	A<生命科学> B<化学、材料科学> C<情報、電気、電子> D<人文科学> E<学際、複合、新領域>					
2. 拠点のプログラム名称 (英訳名)	副題を添えている場合は、記入して下さい(和文のみ)					
研究分野及びキーワード	<研究分野: >() () () () ()					
3. 専攻等名						
4. 事業推進担当者 計 名						
ふりがな<ローマ字> 氏 名(年齢)	所属部局(専攻等)・職名	現在の専門 学 位	役割分担(平成16年度以降の拠点形成計画における分担事項)			
(拠点リーダー)						
5. 申請・交付経費(単位:千円)千円未満は切り捨てる 14, 15年度は交付額、16年度以降は申請額						
年 度(平成)	1 4	1 5	1 6	1 7	1 8	合 計
申請・交付金額(千円)						

様式3 【非公表】

6 - 1 . 研究拠点形成実施計画 (平成16 ~ 18年度)

(平成16年度からの3年間の拠点形成にあたり、実施していく研究計画を具体的に記入してください。拠点形成を今後進めるにあたっての課題は何か。これに対して検討している解決策(研究計画、方法)を具体的に記入してください。記入した内容の実施状況は、事後評価等の対象となります。)

6 - 2 . 年度別の具体的な研究拠点形成実施計画
(項目 6 - 1 において記入された内容の年度毎の取り組み状況)

平成 1 6 年度 :

平成 1 7 年度 :

平成 1 8 年度 :

7. 教育実施計画

(拠点を形成する際に実施される教育関係の取り組み計画において、将来的に見た研究人材等の創出の見込み、若手研究者の流動性(このプログラムにより成果を挙げた若手研究者及び学生のうち、他大学等で活躍している者の活動状況)等も視野に入れて、これまでやってきたこと、その成果及び今後取り組むべき事項等について、具体的に記入してください。)

8. 大学院学生に対する教育の状況(拠点となる専攻等のうち中核となる専攻等(複数可)が調査対象となります。)

大学院学生の在籍及び学位授与状況(平成15年度は、平成16年 月 日現在の数値とする。)
(区分制の場合は後期3年間を、一貫制の場合は区分制に相当する3年間を、また、医、歯、獣医学についてはこれらに相当する4年間について回答してください。)

区 分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	(中核となる専攻等(複数可)として集計した専攻名を列記してください。)(備考)
博士課程入学定員	人	人	人	本件については、中間評価ヒアリングにおいて最新のデータを用いて説明してください。準備のため、あらかじめ様式を示します
博士課程入学者数	人(人)	人(人)	人(人)	
うち、他大学出身者数	人(人)	人(人)	人(人)	
うち、評価対象者が指導教員となっている者	人(人)	人(人)	人(人)	
博士課程在籍者数	人(人)	人(人)	人(人)	
課程博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	
うち、評価対象者が指導教員となっている者	人(人)	人(人)	人(人)	
論文博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	
うち、評価対象者が指導教員となっている者	人(人)	人(人)	人(人)	

注：右側の()は内数で外国人留学生数を示す

9. 16～18年度の各経費の明細

研究拠点形成費補助金(COE補助金)に申請できる経費は、21世紀COEプログラムの拠点形成計画の遂行に必要な経費に限定されます。(「研究拠点形成費補助金(研究拠点形成費)取扱要領」参照) 金額(千円)

事 項	COE補助金	学内経費	(競争的資金)外部資金	計
<平成16年度>				
(平成16年度) 合 計	a	b	c	a+b+c

様式3 【非公表】

事 項	COE補助金	学内経費	(競争的資金) 外部資金	計
<平成17年度>				
(平成17年度) 合 計	a	b	c	a+b+c
<平成18年度>				
(平成18年度) 合 計	a	b	c	a+b+c